

手話言語の国際デーの機会を捉え、手話言語の推進を！

(市川和広県議員一般質問ダイジェスト)

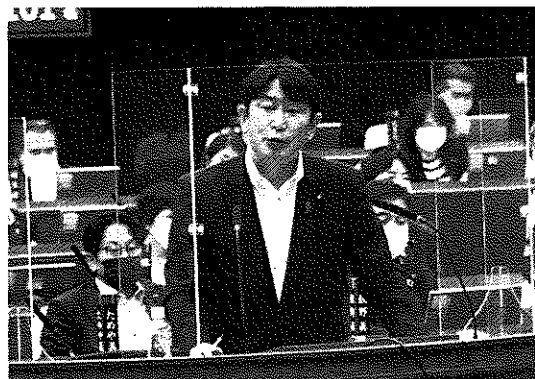


6月23日（木曜日）に神奈川県議会の市川和広議員が一般質問で「しゅわまる」と「手話言語の国際デー」について一般質問されました。その時の様子をまとめてご紹介したいと思います。

↑手話言語の国際デー ロゴマーク

(市川議員)

毎年9月23日の国連が定めた「手話言語の国際デー」を機会に、例えば、手話言語の国際デーのロゴのカラーであるブルーで県庁本庁舎をライトアップしながら、本県においても手話言語についての意識を高め、理解促進を図ることは大変重要である。



聴覚障がいの乳幼児の手話習得支援のため、令和2年11月から手話交流会「しゅわまる」を開始したが、「しゅわまる」の見学や報告会では、子どもの年齢に応じた支援や就学後のサポートなど課題もあると聞いており、聴覚障がいのある子どもたちの手話習得支援をさらに進めていくべきと考える。

この2件について、県は、どのように取り組んでいくのか、併せて見解を伺いたい。

(黒岩知事)

今年度初めて、県庁本庁舎を、国際的な手話普及のシンボルカラーである「青色」でライトアップし、この国際デーと併せて、県内の手話普及推進イベントなどを、県民の皆様に広くPRしていきます。

聴覚障がいの子ども達は、家族など身近に手話を使う人がいないことも多いため、乳幼児期から手話に触れる機会を持ち、その習得を進めることが大切です。

「しゅわまる」について、乳児と幼児を分けるなど年齢に応じた対応や、対象者を小学生まで広げることなどを、当事者や関係者の意見も伺いながら、検討していきます。

今後とも、より一層、手話が言語として浸透し、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会の実現を目指してまいります。

(市川議員)

ライトアップについては、県庁においても行っていただけるということでありましたので、ありがとうございました。こうした県の動きが県内全県につながり、手話言語の普及啓発につながることを期待します。引き続き、手話言語の普及啓発によろしく願います。

手話言語の国際デーに合わせて川崎港の「川崎マリエン」がライトアップされます。
点灯日時は、9/23(金・祝)日没後(17:37頃)から午後8時くらいまでとなります。